

# 地域がん治療学

## 授業概要

地域がん治療学においては、地域に多い高齢者がん治療学として、がんの診療の基本であるがんの診断、治療、包括的な患者マネジメントについて、がん治療認定医機構ならびに日本臨床腫瘍学会のカリキュラムに準じて履修し、資格試験に求められる知識を習得する。

## 担当教員

磯部 威 (主担当)	教授・呼吸器・臨床腫瘍学
並河 徹	教授・病態病理学
木下芳一	教授・内科学第二
田島義証	教授・消化器・総合外科学
齊藤洋司	教授・麻酔科学
鈴宮淳司	教授 腫瘍センター/腫瘍・血液内科
磯村 実	講師・病理病態学

## 一般目標 general instructional objectives

1. がん診療の実践に必要な臨床的知識を獲得する。
2. がん診療において必要とされる包括的なマネジメントについて理解する。
3. がん治療認定医機構の認定医ならびに日本臨床腫瘍学会認定のがん薬物療法専門医資格試験の受験に必要なレベルに到達する。
4. 地域がん診療に必要な地域医療学、病診連携について学ぶ

## 行動目標 specific behavioral objectives

1. がんに関する基礎医学的知見を説明できる。
3. がんの心理社会的側面・倫理的側面を説明できる。
3. がんの治療に関する基本原理を理解し、説明できる。
4. 地域がん診療に必要な地域医療学、病診連携が説明できる。

## 成績評価の方法

すべての講義および演習が終わった後、規定の出席率(2/3以上)を満たした学生に対し、課題を呈示し、レポートの提出等を指示する。そのレポート等を行動目標の達成度を主眼に評価する。

## 使用テキスト・参考文献

日本臨床腫瘍学会編集による「新臨床腫瘍学 改訂第3版」(南江堂) 等

教育内容（講義および演習）

回	授業内容	担 当
1	山陰地区のがん医療の現状と地域がん対策	磯部 威
2	病診連携と ICT	磯部 威
3	病理学，臨床検査医学，分子生物学	並河 徹
4	家族性腫瘍、遺伝子診断	磯村 実
5	消化器がん検診と診断法	木下芳一
6	高齢者の消化器がん	木下芳一
7	消化器がんの手術適応	田島義証
8	地域におけるがん薬物療法（1）	鈴宮淳司
9	地域におけるがん薬物療法（2）	鈴宮淳司
10	副作用対策（1）	磯部 威
11	副作用対策（2）	磯部 威
12	終末期ケア（1）	齊藤洋司
13	終末期ケア（2）	齊藤洋司
14	演習（模擬試験）	磯部 威
15	総括	磯部 威